



新見市男女共同参画情報紙

# りぼん

vol.20  
2015.8

## 子育て応援宣言!!!



今回は **ワーク・ライフ・バランス** を実現するため  
**おかやま子育て応援宣言** をしている企業へ  
子育て支援についてのアンケートを行い、いくつかの企業に  
インタビューへ行きました。



仕事

家庭生活  
(子育て・介護)

健康・休養

地域活動

趣味・学習



おかやま子育て応援宣言企業をご存じですか？

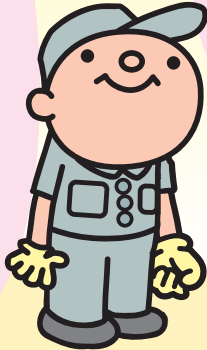
県内で、平成19年8月から、仕事と育児が両立できる環境の整備や地域における子育て支援などに積極的に取り組むことを宣言している企業のことです。

ワーク・ライフ・バランスとは？

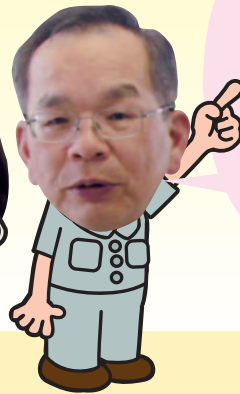
働く全ての人が、「仕事」と子育てや介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のことです。

## 備北粉化工業株式会社 ～地域における子育て支援～

早く帰れば家族  
そろって夕食が食べられますね。



残業はほとんど  
ありません。



次長さん

小学生の職場見学の  
受け入れを積極的に  
しています。

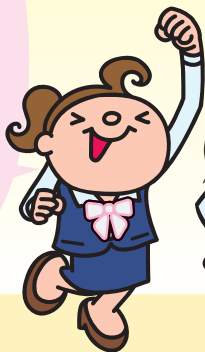


森中記者

子育て支援として  
どのような取り組みを  
していますか？

## 井倉運輸株式会社 ～若者の就労支援～

安心して子育てして、  
職場復帰ができますね。



育児休暇も  
とりやすく  
なりました。



常務さん

若者を対象とした  
トライアル雇用※を宣言して  
若い人材の確保ができました。

宣言したこと  
でどのような  
成果ができましたか？



双道記者

※トライアル雇用…短期間の試用期間を設けて雇用し、企業側と求職者側が相互に適性を判断した後、両者が合意すれば本採用が決まる制度。

## 有限会社山田産業 ～働き方の見直しによる仕事と生活の調和～

誕生日休暇の  
実現を期待しています。



学校参観のときには  
しっかり休んでいます。



社長さん

誕生日を休みにする  
誕生日休暇の設立を  
考えています。

今後新しい  
取り組みなどを  
考えていますか？



川本記者

# ～市内企業のおかやま子育て 応援宣言の内容～

- 事業所内保育施設の充実に努めます。
- 育児休業を取得しやすい社内環境を整えるため、社内研修を実施します。
- 子どもをもつ従業員の学校行事やPTA活動への積極的な参加を奨励します。
- 子どもたちの社会科見学・職場体験を積極的に受け入れます。
- 子どもの学校行事、保育に関する行事においては、休業を取りやすい体制を取るよう努めます。
- 若者を対象としたトライアル雇用を実施します。
- 新規雇用の従業員が気軽に悩みを相談できる窓口を設置します。
- 社員の子どもたちを集めてレクリエーション活動に取り組みます。
- 夫婦が協力して育児ができるよう、時間外勤務の削減に努めます。
- 結婚記念日休暇を設けます。
- 男性労働者の育児休業の取得を積極的に推進します。

詳しくは

おかやま子育て応援宣言

検索



多くの企業が  
色々な工夫をし  
ているんだね。

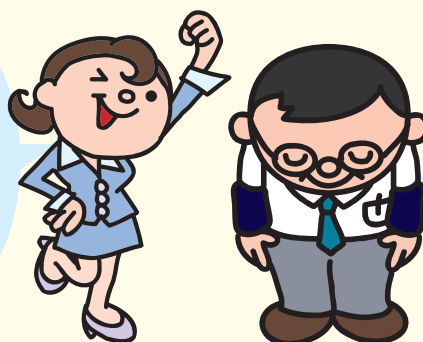
市内にもワーク・ライフ・  
バランスについて考えて  
いる企業が多いのよ。



# 市内に本社のあるおかやま子育て応援宣言企業 16社を紹介します。(平成27年1月現在県内に548社)

- 阿新クレーン株式会社 ● 株式会社安達建設 ● 生熊石油株式会社
- 井倉運輸株式会社 ● 有限会社楓 ● カツマル醤油醸造株式会社
- 社会福祉法人愛誠会特別養護老人ホーム唐松荘
- 株式会社きらり ● 医療福祉法人恵愛会
- 有限会社たかせ建設
- 株式会社哲多すずらん食品加工
- 医療法人淳和会長谷川記念病院
- 有限会社光タクシー
- 備北粉化工業株式会社
- 山佐産業株式会社  
(旧：岡山石油販売株式会社)
- 有限会社山田産業

市内にもこういった  
企業がふえていけば  
いいですね。



お忙しい中、アンケート・  
インタビューへのご協力  
ありがとうございました。

## 子育てサポート企業として、 厚生労働大臣の認定マークがあります

次世代育成支援対策推進法に基づき行動計画を策定した企業のうち、行動計画に定めた目標を達成し一定の基準を満たした企業は、申請を行うことによって「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定（くるみん認定）を受けることができます。



詳しくは

くるみんマーク

検索

## 編集後記

編集委員長 川本 太問

今回のりぼんでは、地元新見で積極的に子育てに対して応援をしていらつしやる企業さんを取材させていただき現在の実情を聞かせていただいた。各企業さんとも工夫を凝らした活動をされており、雇い主と従業員と良好な関係を築いていこうとする姿勢には頭がさがる思いがした。今後についても、この活動を継続していくとおっしゃっていた。働くものとしては大変ありがたいことでもある。雇用情勢の悪化や出生率の低下など、働く環境や子育て環境などの諸問題を解決するためにも特効薬がないのも事実。身近なところからこういった変化を起こしていくことが重要であると痛感している。

特段、何の変化もなく生活を送っているのは、僕自身だ。ありがたいことに去年に引き続き、この時期、サッカー観戦ができる喜びを味わっている。げんきんなもので自分の中では前回大会の注目度はいまいちだったが、今回はがっつり最初から見ている「なでしこジャパン」の試合。スピルバーグ・ノリ、お買い物ドリブルの鮫ちゃん、レジェンドの10番、ベンチの白熊。優勝こそ逃したものの、苦しい時もあきらめることなく、ひたむきに試合をする姿には、感銘を受けた。キャプテン宮間が女子サッカーの盛り上がりをブームで終わることなく文化として根付かせていきたいとコメントしていた。今回の企業さんの取り組みも継続して行われていくことを期待してやまな